

NOSAI

2026
新年号
Vol. 20
ひょうご

特集
第25回「農」絵画コンクール
うまいく一年へ！新年の抱負



共済掛金は 口座振替が便利です

引受の適正化およびコンプライアンス(法令遵守)の観点から、共済掛金等の納入は便利な口座振替をお勧めしています。既に口座振替をしている方でも名義変更など口座情報に変更があった場合は、改めて手続きが必要です。

お問い合わせは お近くのNOSAI事務所まで

事務所

神戸	戸	078-220-0044
阪東	神	079-550-0027
西脇	播磨	079-424-1390
三木	多可	0795-21-9002
小野	加東	0794-68-9085
加西	播磨	0794-62-3433
赤松	相	0790-21-9058
たつの	太子	079-232-4401
穴	粟	0791-45-1101
佐	用	0791-63-4800
豊	岡	0790-60-3004
南	但	0790-60-3002
香美	温泉	0796-42-4133
丹波	篠山	079-665-0215
丹波	波	0796-92-2410
洲本	淡路	079-550-9010
南あわじ	あわじ	0795-74-1474
		0799-28-1653
		0799-42-6210

家畜診療所

阪東	神	078-991-4531
西脇	播磨	0794-63-2211
但馬	播磨	0791-63-0286
丹波	馬	0796-42-4135
洲本	波	0795-72-0244
南あわじ	淡路	0799-28-1650
	あわじ	0799-42-1037

おわびと訂正

2025秋号Vol.19の12ページ「家畜診療だより」におきまして、森井正伸さまの経営規模に誤りがありました。以下の通り、訂正させていただきます。森井さまにはご迷惑をおかけしましたこと、深くおわび申し上げます。

〔誤〕母牛40頭を飼育 ▶ 〔正〕母牛約100頭を飼育

兵庫県農業共済組合

〒650-0011

神戸市中央区下山手通4丁目15-3

TEL. 078-332-7154 <https://www.nosai-hyogo.or.jp>

NOSAI
ひょうご vol.20

「穴栗市を花の産地に」



ハボタンの葉かきをする前田さん一家。左から敬太さん、父の高春さん(69)、母のゆみさん(66)

「自分で種から育てたものを商品化できるところがうれしい」と話すのは、穴栗市で花き48㍓と水稻45㍓を栽培する前田敬太さん(31)。県立農業大学校を卒業後、JAに就職し農業に関わる中で、楽しそうに働く農家の姿を見て自分でもやってみたくて3年前に就農しました。実家が農業を営んでいたこともあり、当初は野菜栽培を考えていたものの「違うことに挑戦したい」と花き栽培を選択。「花は野菜や米と育て方が似ていても、成長の仕方が異なる点が面白かった」と振り返ります。現在はリンドウを中心に、花壇苗やハボタンなどの寄せ植えを販売。技術は独学で習得し、試作を重ねながら磨いてきました。「最初は売れるか不安だったが、『買ってよかった』と言ってもらえることがやりがい」と笑顔を見せます。

「穴栗市は花き農家が少ないので、地域の先駆者となってこれから花を育てたい人のサポートができれば。穴栗を花の産地にすることが目標です」と意欲的に語ります。

お互いへのメッセージ

両親 これからも体に気を付けて頑張って。

いつも支えてくれてありがとう。これからも元気に農業を続けていきたいと思います。 敬太さん

穴栗市

K.farm代表
前田敬太さん

第25回「農」絵画コンクール入賞作品
風景画の部 金賞



洲本市立洲本第三小学校
森崎建稀さん
「あわじしまのたまねぎ」

農業保険の普及・定着に 全力を挙げて



組合長理事

吉本知之

新年明けましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から農業保険事業の運営に格別のご理解とご協力を賜り、役職員一同、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、近畿地方では観測史上最も早い6月中での梅雨明けとなりました。

た。また、丹波市では7月に当時の観測史上最高気温となる41.2度を記録したほか、兵庫県では酷暑日、猛暑日が過去最多になるなど記録づくめの暑い夏となりました。

農業においては、米不足による米価格の高騰やそれに伴う政府備蓄米の放出などを通じ、生産者と消費者の双方が、食料・農業・農村基本法にある「良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、国民一人一人がこれを入手できる状態」とする「食料安全保障の確保」について考える契機となりました。

昨年4月に閣議決定された新たな「食料・農業・農村基本計画」では、激動する国際情勢や厳しさを増す経済・貿易環境、更には人口減少などで国内状況が変化する中において、米なども含め平時からの食料安全保障を実現する観点から、農業の構造転換を集中的に推し進めることとされています。

また、全国的に線状降水帯や竜巻による局地的な大災害が頻発している現状において、災害の予測精度は高まりつつあるも、災害への備えとして農業保険等への加入がなければ万全とはいえません。農業共済組合としても、皆さまの「備え」に対応すべく役職員一同、全力を挙げて取り組んでまいります。

これから県内の大部分の地域において、建物・農機具共済の契約更新の時期を迎えます。も

しもの災害や事故に備えて、皆さまの生活基盤である住宅や農作業場については、地震や台風被害など自然災害による被害も補償される建物総合共済に、農作業に欠かせない農業用機械は農機具共済に、十分な補償額での加入をお願いしたいと思います。

結びに、本年も引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願いいたしますとともに、皆さま方のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。



謹賀新年

代表 監事	組合長理事		副組合長理事		専務理事		理事	
	吉本	庵途	高谷	福田	守本	片山	福元	多次
	知之	典章	直樹	長治	憲弘	象三	晶三	勝昭
							進一	務
							正稔	銀三

たくさんのご応募ありがとうございました

力作がそろった 第25回「農」絵画コンクール

小学3年生を対象に、農作業や農村の風景など身近な農業を題材とした「『農』絵画コンクール」を2025年度も開催しました。第25回を迎えた本年度は、344校から応募がありました。

応募総数 3,302点



講評を行う永田萌審査委員長(イラストレーター・絵本作家)

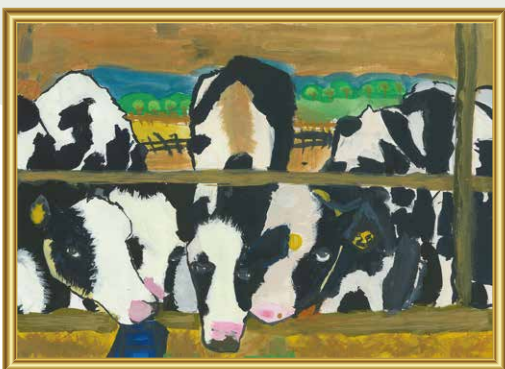
11月24日、神戸市の兵庫県農業共済会館で上位入賞者の表彰式が開催されました。

その他の入賞作品はホームページで



兵庫県知事賞

風景画の部



「おいしいミルクを作っています!」

くまのふみか
熊野文香さん

牛の目と毛並みを描くのが難しかったです。毛並みがふわふわになるよう工夫しました。

兵庫県教育長賞

風景画の部



「お父さんが育てたかぼちゃ」

わたなべかえで
渡部 楓さん

種の綿のふわふわと皮のごつごつが難しかったです。水彩画とクレヨンを使って描き分けました。

兵庫県知事賞

人物画の部



「ほうれん草畑のじいじ」

いざわかな
井澤和奏さん

動いているところを描くのが大変でした。ホウレンソウは1色ではなく2色使って描きました。

兵庫県教育長賞

人物画の部



「はじめての田うえ。むずかしかった。」

よこりおん
横 凜音さん

人を描くのが大変でした。土の部分は筆を5本以上使って工夫しました。

うまいく一年へ！ 新年の抱負



たにぐちかずとし
谷口和稔さん(50) 三木市

就農21年目

経営規模

水稻80畝(主な品種山田錦)、花き36畝(菊)

2026年の抱負「咲」

理由

近年の異常気象による菊の開花時期の変動にも対応し、安定的に花を咲かせたい。



現在苦労しているのは、近年の異常気象による作物への影響。例えば、猛暑の影響で菊は開花時期が変動しているほか、水稻では高温障害による品質低下が発生しています。このような状況に対処するため、薬剤の種類や散布時期を見直し、暑くなることを見越して菊の開花時期を調整するなど、安定した生産を目指しています。

今後については、「安定してたくさんのきれいな花を咲かせたい。そして、地元の人から農地を新たに引き受けることで耕作放棄地を出さないようにし、生まれ育ったこの地域の農地を守っていきたい」と意欲を見せます。



「工夫を重ねた結果、自分が納得できるようなきれいな花に育ち、それが秀品として評価された時がうれしい」と笑顔を見せる谷口和稔さん。三木市岩宮で水稻と菊を栽培しています。

もともと実家が菊農家を営んでいたという谷口さん。「幼い頃から農作業を身近に感じていた」と、就農のきっかけを振り返ります。

2026年は、60年に一度の丙午の年。勢いとエネルギーに満ち、行動力が高まる年といわれています。そんな午年のスタートに当たり、2組の農家さんに新年の抱負を語っていただきました。

ひのえうま



F.smile

ふくもと まなぶ ひろこ
福本 学さん(58) 寛子さん(45) 朝来市

就農4年目

経営規模

岩津ねぎ1.3畝、その他野菜18畝

2026年の抱負「飛躍」

理由

こだわりの岩津ねぎを今まで以上に追求し、さらなる高みを目指したい。



「夫婦でずっと一緒に働きたい」という思いを胸に大阪からの移住先を検討していた福本学さん、寛子さん夫妻が、情報を集める中で出合ったのが朝来市の岩津ねぎでした。そのおいしさとブランド力に魅了され、岩津ねぎ農家の道を選択。大阪から朝来市に1ターンし、同市の研修制度を活用して3年間の農業研修を積んだ後、2022年に就農しました。

農業の魅力について、学さんは「手間暇かけた分だけ、野菜たちが応えてくれるところが楽しい。お客さまから笑顔で感想をもらえると励みになる」と笑顔を見せます。自ら工夫できる点にやりがいを感じ



ており、「収入保険という『お守り』のおかげで安心して農業に打ち込めている」とも話します。

岩津ねぎの品質を重視する夫妻は、おいしさを追求する中で「理想の肥料で育てたい」という思いから、2025年、自家ブレンドによる有機肥料の開発に着手。今後は、無農薬・無化学肥料栽培の拡大と有機JAS認証の取得への挑戦も考えているそうです。

「2026年は、これまで以上に多くの人にこだわりの岩津ねぎを手にとっていただき、感動を味わってほしい」と、さらなる品質の追求と飛躍を目指しています。



問い合わせ・
注文はこちら





- 1 10月に行われた「第107回兵庫県畜産共進会」。
いざ審査へ
- 2 月1回の体測
- 3 愛情を込めて子牛を育成
- 4 共進会で自慢の1頭と共に
- 5 審査に備えてブラッシング



「農業と未来」

私が就農した時は、祖父から受け継いだ設備がある程度整っており、資金面でも多少の余裕がありました。一から始める大変さは想像以上だと思います。でも、農業は決して閉鎖的な世界ではないと感じています。さまざまな機関に相談してみると、親身になって話を聞いてくれます。「やりたい」という強い気持ちがあるなら、まずは動いてみることにしたいと思います。



毎日、牛をよく観察することです。特別なことではなくルーティンのようなものですが、ちょっとした変化に気付けるかどうかでその後の世話も変わってきます。また、

日々意識していることは？

飼料にこだわっています。ただ、ほとんどが輸入品のため価格が高騰し不安定で、常に悩みの種です。でも、コストを切り詰めてしまうと「それなりの牛」にしかありません。牛がしっかりと食べてくれるものを作るべく選ぶようにしています。そして、できるだけ自給飼料も作り、補っています。

農業でのこだわりは？

祖父の存在が大きいです。祖父はもともと酪農を営んでおり、そこから和牛繁殖へと転換したので、幼い時から常に牛がいる環境で育ちました。中学生の頃に、「毎日机に向かって仕事するのは、自分には向いていない」と感じるようになり、ふと頭に浮かんだのが祖父の仕事でした。農業高校へ進学し、北海道の大学で4年間畜産について勉強しました。卒業後は但馬での1年間の研修を経て地元に戻り、祖父の後を継ぎました。

就農のきっかけは？

祖父の後を継ぐため、就農した清水健司さん。「清水牧場」を経営し、牛のわずかな変化も見逃さない観察力で繁殖管理に力を注ぐ清水さんの笑顔はキラキラと輝いています。

若手農業者

キラキラ笑顔
ワクワク未来

農業でうれしいことは？

子牛が高く売れた時や、偶数月にある品評会で子牛が高く評価された時です。やはり、自分が育てた牛が評価されると頑張ったかいがあったと喜びを感じます。また、同年代の農家さんとの交流も楽しいです。頻繁に会えるわけではないですが、出荷の時に顔を合わせてちょっとした話だけでも情報交換になったり、刺激をもらえたりします。向こうから声をかけてくれると、うれしくてつい話し込んでしまいます。

これからの目標は？

種付けのタイミングがとても重要です。発情しているかどうかを見極めるには、牛の様子を観察するしかありません。発情している牛は、そうでない牛とは体全体の雰囲気が変わっています。日々の変化を見逃さないように心がけています。

今は限られた頭数ですが、できれば100頭ぐらいまで増やしていきたいと思っています。畜産の新規就農者の仲間をもっと増やしていくためにも、丹波篠山の牛の魅力をしっかりと伝え広めていきたいです。

★ Vol.3 ★
丹波篠山市曾地口
しみずけんじ
清水健司さん(39)
2011年就農
繁殖和牛・母牛40頭

火災の発生を防ぐための4つの習慣

寝たばこは絶対にしない、させない。



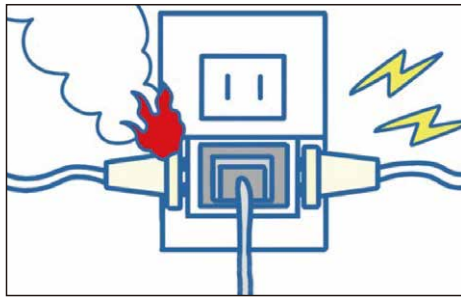
こんろを使うときは火のそばを離れない。



ストーブの周りに燃えやすい物を置かない。



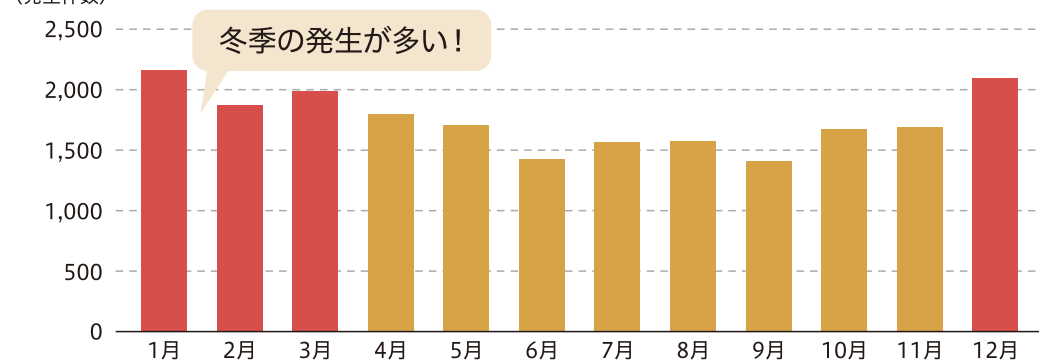
コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。



建物火災の主な出火原因(全国)

1位	こんろ(13.2%)
2位	たばこ(9.2%)
3位	電気機器(8.0%)
4位	配線器具(6.2%)
5位	放火(5.4%)

建物火災の月別件数(全国)



加入者の声

日頃からの備えに



やまもとかずゆき
山本一幸さん(66)
新温泉町

建物共済に入っていて本当に良かったと感じています。近年は台風や地震、大雨などの自然災害が増え、どこに住んでいても油断できません。総合共済は保険料がやや割高ですが、雪害や地震など、災害に幅広く対応しており心強いです。

2025年の大雪で屋根が破損した際には、多額の出費を覚悟したものの、建物共済に加入していたことで修理費用の大半が補償されました。大きな経済負担を避けられて、本当に助かりました。

災害は、いつ、どこで、どのように起きるか予測できないため、日頃の備えが欠かせません。建物共済は、思わぬときの助けとなる存在だと実感しています。

冬季の火災は本当に怖い 今すぐできる予防策

これからの季節は、ストーブなど火の取り扱いが増えるため、十分な注意が必要です。消防庁の「令和6年版 消防白書」によると、12月～3月は火災件数が特に多くなっています。思わぬ火災事故を防ぐため、次の4つの習慣を守りましょう。

使用していないハウスの被覆材は必ず外しましょう！
やむを得ず被覆材を切除する場合は、必ず事前にNOSAI事務所へ連絡をお願いします！



ホームページで掛金の額を試算できますぜひお試しください！



▼2024年1月の大雪による被害を受けた施設



園芸施設の雪害対策は万全ですか？

雪の降る季節となりました。園芸施設の雪害対策はできていますか。

2024年1月は、寒気団の到来による大雪、暴風により、県北部を中心に園芸施設が倒壊するなどの被害を受けました。

本格的に雪が降る前に下記のチェックリストで雪害対策を確認し、大雪に備えましょう！

また、雪害対策に加えて、もしもの被害に対する備えとして、園芸施設共済への加入や契約内容の見直しもご検討ください。

農家の工夫 (有あした(豊岡市))

自作の耐雪支柱で備える



やまだしょうご くらがきかずお
左から、山田将吾社長(38)と考案者の栗垣一夫(68)さん

20年前に水稻育苗用としてハウスを建て、その翌年から山ウドを作るために冬越しすることになり、支柱で補強したのが始まりです。当初は角材を使用したため、取り付けが悪く、風で動いて外れてしまい、正月早々から除雪をした苦い経験があります。次のように改良を重ねた結果、降雪時の心配もなくなりました。

ハウスの天井部に48.6mmの単管を添え付け、4.5m間隔で支柱となる単管を自在クランプで固定するだけの簡単な構造です。工夫した点は、支柱の土台にジャッキを取り付けて高さを調節可能にし、自在クランプで折り畳めるようにしたことです。全ての材料がホームセンターで手に入るので、自作できる雪害対策の一つとしてぜひお試しください。

材料(6m×30mハウスの場合)

- ・天井用単管(48.6mm)…6m×5本
- ・支柱単管(48.6mm)…3m×6本
- ・自在クランプ・ジャッキ…各6個
- ・クロス金具(パイプと単管)…10個



上部に自在クランプ、土台にジャッキを取り付けた支柱。

降雪前のチェックリスト

補強対策 雪の滑落促進	雪の滑落を妨げる防風ネットや外部遮光資材等は外しましたか？	<input type="checkbox"/>
	被覆材の表面に雪の滑落を妨げるような突出物や汚れはありませんか？	<input type="checkbox"/>
	作物を栽培していないハウスは被覆材を外しましたか？	<input type="checkbox"/>
	中柱を立てるなど応急的な補強はしましたか？	<input type="checkbox"/>
	谷どいや排水路、ハウスの際などの残雪やごみは取り除きましたか？	<input type="checkbox"/>
融雪準備	ブレースや筋交いの留め金具に緩みがないか点検しましたか？	<input type="checkbox"/>
	ストーブなど暖房器具は正常に作動するか、被覆の破れはないかなどを確認し、保温対策は万全ですか？	<input type="checkbox"/>
	除雪機の整備点検はできていますか？	<input type="checkbox"/>

青色申告、始めませんか



農業経営の発展を図るためには、自らの経営を把握しリスクに備えることが重要です。
メリットの多い青色申告を始めて収入保険に加入しましょう。

Q

どんなメリットがあるの？

- ・最高で**65万円の特別控除**が受けられます（簡易方式では10万円）
- ・損失額（赤字）の**繰り越しや繰り戻し**ができます
- ・家族従業員の給与額を**必要経費に算入**できます

令和8年から青色申告を
始めると令和9年契約の
収入保険に加入できます



Q

どうやって始めるの？

3月15日までに税務署に「青色申告承認申請書」を提出する必要があります

国税庁「はじめてみませんか？
青色申告」はこちらから



大 節税効果 小

青色申告				白色申告
あり			届出の必要	なし
65万円	55万円	10万円	特別控除	なし
正規の複式簿記 ※e-Taxによる電子申告または電子帳簿保存	正規の複式簿記	簡易簿記	記帳義務	簡易簿記
貸借対照表・損益計算書 全て記入			決算書の作成	収支内訳書
			一部未記入可	
特別控除 あり			専従者 赤字処理	配偶者は86万円まで、それ以外は50万円まで なし



収入保険と私

はやし のりゆき
林 則幸さん(77)
南あわじ市

収入保険に加入していることで、自然災害や獣害などによる収入減少に備えられる点が良かったと思っています。今後は、菊の品質維持、労務管理、市場や薬剤の価格高騰などと向き合いながら生産を安定させ、注文に対応していきたいです。



ハウス内の様子。「正確な温度管理が色彩の良い大輪の花になります」と話す林さん。



鮮やかな色のレッドダイヤモンド。



出荷準備中の大輪の菊。

さまざまな災害に備えられる 安心感

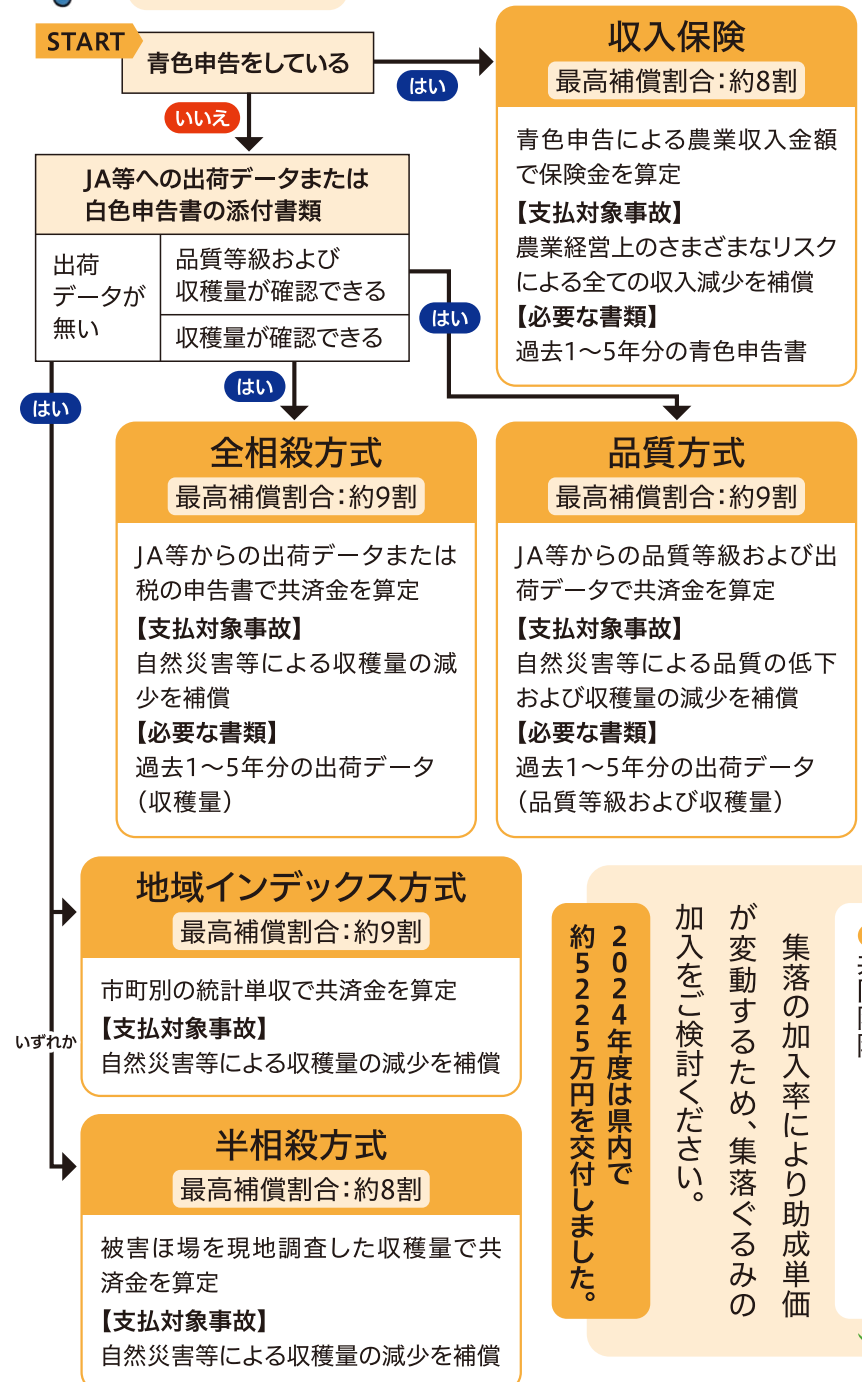
南あわじ市で菊を20㍍栽培しています。菊も補償の対象となる収入保険の存在を知り、加入しました。

栽培する「レッドダイヤモンド」は、鮮やかな赤色と丈夫で花持ちの良さが特徴の品種で、仏花や装飾花として高い需要があります。肥料は、この土地に合った専用配合のものを使用しています。また、ハウスの正確な温度管理、側枝やつぼみを丁寧に切り除く芽摘み作業を徹底し、より色彩の良い大輪を咲かせられるよう工夫しています。その他に、カビや病害虫対策、大雨被害を防ぐ排水対策、鹿による獣害対策など、品質と収量の維持のためにさまざまな対策をしています。菊の栽培は手作業が非常に多く、高い技術力と労力が必要だと感じています。



フローチャートで
自分に合った加入
方式を見つけよう！

水稻共済 補償方式選択チャート



近年多発する災害に備えて、補償方式選択チャートを参考に、自分に合った補償をご検討ください。
2024年度の水稲共済支払金は約4203万円となりました。
加入の際には、「一筆半損特約」の付加をお勧めします。



▲イノシシが侵入し食害や倒伏被害を受けたほ場

経営形態に合った 共済プラン選びを

昨年度
被害率1位
獣害

集落ぐるみの加入がお勧め
損害防止事業

NOSAIひょうごでは、水稻共済または収入保険に加入している農業者が属する集落等を対象に、加入率に応じた水稻損害防止助成金を交付しています。

助成対象となる作業経費

- 病害虫防除のためのあぜ道等の除草作業
- 獣害防護柵の点検整備
- 共同防除



集落の加入率により助成単価が変動するため、集落ぐるみの加入をご検討ください。

2024年度は県内で約5225万円を交付しました。

加入者の声

被害が起きてもめげずに



農事組合法人小柿営農
こたによしのり
小谷良徳さん(73)
三田市

「コシヒカリ」や「ヤマフクモチ」、ソバなどを30畝栽培しています。また、直売所「えのこがき」の運営や、就労支援事業の一環として農業体験を実施するなど、農福連携にも力を入れています。

2025年は、例年にはない高温障害による被害が発生しました。ここまでの影響は予想しておらず、かなりの打撃となりました。水稻共済には組合設立当初から加入しており、幸いこれまで大きな被害はありませんでしたが、今回の経験を機に備えの重要性を再認識しました。これからも、生育状況には十分に気を配りつつ、今回の被害にめげず、おいしい米を作っていきたいです。

集落所有の建物・農機具の加入について

よくある質問

- Q** 集落で所有している建物や農機具の加入はできますか。
- A** はい、可能です。ただし、法人格を有しない自治会で維持・管理している集会所や、集落営農の農機具は、組合員資格のある代表者名での加入となります。

ポイント

加入申込書における加入者名義の記載方法(例)

- 法人格を有する場合
山手農事組合法人 代表 山田太郎
- 法人格を有しない場合
山田太郎(山手営農組合代表)



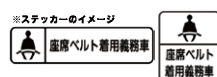
農林水産省からのお知らせ



義務化はいつから？ **令和9年1月1日** からです。

令和9年1月1日以降に製造された
**座席を有するトラクタは、大型特殊自動車
・小型特殊自動車に限らず対象車となります。**

対象のトラクタには、ボンネット側面に
座席ベルト着用義務車を示すステッカーが貼付されます。



**シートベルトの着用義務違反
として、点数1点が付されます。**

シートベルト着用
啓発動画

農林水産省



第58回兵庫県NOSAI大会

「より身近に、より丁寧に、農家のもとへ」
を行動のスローガンに目標達成を！



事業報告を行う河野光裕参事

第58回兵庫県NOSAI大会が11月11日に、シーサイドホテル舞子ビラ神戸（神戸市垂水区）で開催されました。県内のNOSAI関係者約130人が参加し、農業保険事業に功績のあった方の表彰や講演が行われ、全国農業共済協会長や兵庫県農林水産部の守本真一郎長からもご祝辞を頂きました。

大会では、本県の食料・農業・農村の持続的発展に寄与するため、地域に根差した事業展開を図り、「備えあれば憂いなし」の農業生産体制を構築することを目指し、収入保険と農業共済を総合的に推進し、各事業の目標達成に全力で取り組むことなどが決議されました。

家畜診療だより

ワクチン接種で
子牛の肺炎を防ぎましょう



肺炎の原因には主に細菌とウイルスが関与しています。細菌感染と違って、ウイルスによる肺炎には抗生剤は効果がなく、子牛の免疫力向上で治すしかありません。そのため、肺炎を予防することが大切です。予防方法の一つとして、ワクチン接種があります。ワクチンを投与することで肺炎の発生率を低下させ、重症化を防ぐことができます。また、細菌に対しては感染率と重症化率を低下させ、抗生剤の投



丹波家畜診療所
いしはらりゅうの すけ
石原竜之介



丹波農商で、大塩敦史さんと

与回数を減らすことができます。ワクチンの投与時期も重要です。子牛は、親牛の初乳を飲むことで移行抗体を獲得し、免疫機能を高めます。移行抗体は、生後1カ月齢から6カ月齢ごろまでに消失します。移行抗体が少なくなつた時期に肺炎になってしまう可能性が高くなるため、肺炎の発生が増える前にワクチンを打つことが効果的です。子牛の抗体検査や肺炎の発生状況を考慮して、ワクチンの投与時期を決めると良いと思います。さらに、飼育環境の改善も行くと、ワクチンの効果がより期待できます。

肺炎対策には、ワクチンを投与しては、ワクチン接種を投与するのと治療が早く、下痢による死亡も減少したことで効果を実感しています。

兄の勧めがきっかけで、2019年に就農し、繁殖経営を始めました。日頃から、牛舎内をきれいに保つことや病気の早期発見・治療を心がけています。



株丹波農商 代表
おしおあつし
大塩敦史さん(30)
丹波市(母牛60頭を飼育)

肺炎対策を強化

今後は母牛を70頭まで増頭し、事故を減らして全頭出荷を目指したいと思っています。これからの肥育農家に喜ばれる牛づくりに励んでいきたいです。

第7回

長澤さんの章姫

兵庫県を6つに分け、
産地へ突撃取材！

今回は



東播磨

enFARM 長澤栄三さん(52) 稲美町

今回は、稲美町でイチゴ「章姫」をハウス栽培している長澤栄三さんにお話を伺いました。

Q 章姫の特徴は？

一目で買いたくなるようなつやつやの大粒イチゴで、糖度が高いのが特徴です。花がたくさんつく章姫は、一般的にはある程度花数を抑えて栽培しますが、より花を少なくして栽培することにより、1つの果実に糖度や栄養がより行き渡るようにしています。

Q こだわりや工夫はありますか？

章姫は手間をかければかけるほどおいしくなる、栽培しがいのある品種。タイミングよく肥料を入れ、温度管理などを徹底的にする必要がありますが、一つのことを集中して行うことは自分に合っていると思います。また、鮮度に気を付けていて、糖度が最も高まる日の出の直前に収穫することを心がけています。収穫当日

に出荷することにより、元気でつやのあるおいしいイチゴを直売所に出すことができます。

Q 栽培での苦労ややりがいは？

炭疽病以外は大体経験するなど、毎年いろいろな試練に見舞われており、それも勉強だと思っています。そんな中でも、買ってくれた方が「おいしい！」と言ってくれた時や売れ残りがなかった時にやりがいを感じます。

Q ずばり、今後の夢や目標は？

もう一人くらい仲間が欲しいと思っていますが、今は栽培技術をもっと磨きたいです。また、人とは違う栽培方法で自分のイチゴの特徴を伸ばしていきたい、「毎日食べたい」「定期的に食べたい」と思ってもらえるような商品を目指します。

Q 農業従事者に一言！

これから農業の時代が来るので、皆さん一緒に頑張りましょう!!



13㍿で栽培。「鮮度と甘さに特に気を使っています」



会社員を辞め、就農して2026年で7年目になります。これからも章姫のポテンシャルを追求し、おいしいイチゴを作っていきたいです



大粒でつややか、ジューシーなのにあっさりとした甘さの章姫(長澤さん提供写真)

販売先



にじいろふぁ～みん(稲美町)、道の駅みき直売所(三木市)

Facebookは
こちらから



イチゴに対する愛情や熱い思いを取材させていただくことができ、一粒ができるまでの時間を想像して胸が温くなりました。進化し続ける長澤さんの愛情がたくさんこもったイチゴが今シーズンも楽しみです。

東播磨事務所 泉



フレッシュひょうご便

ふじもとゆう か
(株)アグリ藤本 藤本佑華さん(27) 佐用町



「佐用もち大豆」で
検索してね!

(株)アグリ藤本は、私と父と弟の家族3人で経営する農業法人です。水稻の他に、佐用町の特産品である「佐用もち大豆」を作っています。佐用町独特の気候を生かした「もちもち」とした食感が魅力です。SNSでおいしかったと書かれた投稿を見つけるたび、「これ、私が育てた大豆かも!」とニヤッとするのもしばしば。家族経営だからこその強みを武器に頑張っています。

来年からは
お姉ちゃんの旦那さんも
仲間に加わります

大好きな
マイトラクターに
キュンです♪



たかし
弟の大準さん(20)

ひろし
父の浩さん(57)



実は
代表取締役(笑)
農作業と経理、
大変だけど
頑張っています!



株式会社アグリ藤本の
詳しい情報は
こちらから



NOSAI ピックアップ

農業共済新聞12月2週号
トップ掲載記事を紹介

安全安心な国産シイタケを広めたい

多可町八千代区で年間2,000菌床の純国産シイタケを栽培する門脇マリアさん(43)。地域のシイタケのおいしさを広めたいと日々取り組んでいます。

5年前に就農を決意し、祖父の織物工場跡を改修してシイタケ栽培を開始。菌床には国産木材のみを使用し、肥料や農薬に頼らず栽培しており、購入者からも好評だといいます。

「温度や水分の管理など難しさもあるが、売りでもある大きなかさやおいしさを喜んでいただくとすごくうれしくなります」と笑顔を見せます。地元の直売所や道の駅、オンライン販売に加え、ふるさ



培養完了後の発生したシイタケの状態を確認する門脇さん。

と納税返礼品にも出品し販路拡大に努める門脇さん。「日頃からお世話になっている近隣の農家の皆さんに感謝し、今後は菌床を4,000に倍増し挑戦を続けたい」と意気込んでいます。

農業共済新聞 2カ月無料試し読み
キャンペーン実施中!

お申し込みはお近くの事務所または
組合ホームページまで。

詳しい情報は
こちらから

